

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	芸術	科 目	音楽 I	学 年	1 年	類 型	共通
単位数	2	教科書	MOUSA 1		出版社	教育芸術社	
副教材							

学習の到達目標

- (1) 音楽に関する特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につける。
- (2) 創造的な表現を工夫したり、音楽のよさや美しさを深く味わったりすることができる。
- (3) 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

授業の概要

- ・ この授業は、表現活動、鑑賞活動、創作活動を通して音楽を表現する技術と味わう心情を身に付けることを目標にしています。基本的な内容から取り組み、音楽について「わかる」、「知っている」が増えることで作品を様々な視点で捉えられるようになるためのヒントを提示していきます。
- ・ 「音楽を構成する要素」について理解し、感受したそれらの働きを生かした活動の工夫ができるようになることを目指します。
- ・ 様々なジャンルの音楽に触れることで、音楽文化について親しみ、理解を深め、主体的・協働的な取り組みができる感性を育む工夫をしています。
- ・ 諸活動に積極的に参加し、他者との価値観の共有ができるようになることを期待しています。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりと、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・ 音楽を形づくっている要素や文化的・歴史的背景と楽曲との関わりを理解している。 ・ 創意工夫を生かした音楽表現を実現させるために必要な技能を身に付けている。	・ 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらを活用して表現に意図を持たせたり、音楽を批評することで評価や感想を具体的に他者と共有することができる。	・ 主体的・協働的に表現、鑑賞及び創作の学習に取り組もうとしている。
評価の対象	単元プリント、実技試験、口頭試問など	実技試験、単元プリント、発表など	練習、発表、実技試験、単元プリントなど
備考	・ 観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・ 「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとまりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	歌唱 校歌 Caro mio ben 小さな空	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（知） ・曲にふさわしい発声、言葉の発音などの技能を身に付けている。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、表現の創意工夫に関連させることができる。（思） ・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（主）	実施しません
	器楽 ウクレレ	・楽器の音色や奏法について理解している。（知） ・創意工夫を生かした表現に必要な奏法、技能を身に付けている。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、表現の創意工夫に関連させることができる。（思） ・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
	創作 メロディー創作	・音階型、リズム、拍子など楽譜を正しく表記するための知識・技能を身に付けている。（知） ・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
	鑑賞（楽典） 調性の味わい	・音楽を形づくっている要素と音楽の味わいの関わりについて知覚することができる。（思） ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
2 学期	歌唱 あなたに 空より高く 美女と野獣 サザエさん	・曲想と音楽の構造や歌詞とのかわりについて理解している。（知） ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、表現の創意工夫に関連させることができる。（思） ・主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。（主）	実施しません
	器楽 ヴァイオリン	・楽器の音色や奏法について理解している。（知） ・創意工夫を生かした表現に必要な奏法、技能を身に付けている。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、表現の創意工夫に関連させることができる。（思） ・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
	リズムアンサンブル クラッビングカルテット クラッビングファンタジー	・曲想と音色や奏法にとの関わりについて理解している。（知） ・他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、表現の創意工夫に関連させることができる。（思） ・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
	鑑賞 交響曲第9番	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。（知） ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
3 学期	器楽 箏	・我が国の伝統音楽の特徴について理解している。（知） ・曲にふさわしい奏法、技能を身に付けている。（知）	実施しません
	リズムアンサンブル 創作 Plymouth Rock YOU CAN DO IT Clap, Tap with CUPS!	・他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。（知） ・創意工夫を生かした創作に必要な知識、技能を身に付けている。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、表現及び創作の創意工夫に関連させることができる。（思） ・主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。（主）	
	鑑賞 オペラ《カルメン》 ミュージカル	・音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。（知） ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。（知） ・音楽を形づくっている要素を知覚し、感受したこととの関わりについて考えることができる。（思） ・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。（主）	

令和4年度 シラバス

愛媛県立大洲高等学校

教 科	芸術	科 目	美術 I	学 年	1	類 型	共通
単位数	2	教科書	美術 1		出版社	光村図書	
副教材							

学習の到達目標

- (1) 造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、美術を愛好する心情を育むとともに、美術に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

授業の概要

- ・実習が中心となります。基礎基本を大切にし分かりやすく取り組みやすい授業を行います。
- ・作品制作では1つ1つの課題に時間をかけて取り組むことで、理解を深め作品への愛着が深まるように工夫します。
- ・教科書や他者の作品を鑑賞したり、意見を交換したりすることで、いろいろな考え方や作品への理解が深まるように工夫します。
- ・材料や大きさ、作品のテーマなどの制約があります。制約の中でいかに発想したり工夫したりすることができるかが、作品を完成させていく喜びになっていくことを期待します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組みうとしたり、鑑賞しようとしていたりしている。
評価の対象	ワークシート・授業の観察・作品	ワークシート・授業の観察・作品	ワークシート・授業の観察・作品
備考	・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	文字をデザインする	・レタリングの方法を理解し、主体的に文字の創作の工夫をしたり、美し文字を描いたりしようとしている。 ・文字がビジュアルデザインの重要な要素であることを理解し、身の回りに見られる様々な書体や文字の色について関心を深め鑑賞したり使ったりすることができる。	実施しません
	色の性質・色の効果	・アクリル絵の具の特性や道具の扱い方を理解し、主体的に制作に取り組むことができる。 ・色の性質や効果について理解し、作品や生活の中にある色について見方や効果を考えていこうとしている。	
	想像した世界を描く	・形や構図などの表現を工夫し、主題を迫及して創造的に表すことができる。 ・形や構図などについて考え、イメージを組み合わせるなど創造的な表現の構想を練っている。 ・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品の意図や作品に込められた思いなどについて考えようとしている。	
2 学期	メッセージを広く伝える	・主体的にメッセージの内容について考え、文字の配置、構成、配色について工夫し、分かりやすく効果的にメッセージを伝えるための構想を練っている。 ・目的や計画をもとに創造的に表すことができる。	実施しません
	鉛筆で描く	・鉛筆の削り方を理解し、道具を安全に使うことができる。 ・主体的に自己を見つめ、濃淡や明暗を観察して形態を把握し、表現を追求していこうとしている。	
	自己をあらわす	・主体的に自己を見つめ、形や色、明暗を観察し、気付いたことや発見したことをもとに、表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・明暗による立体表現や、色彩や配色の効果を考え、創造的に表現することができる。 ・自己をあらわした作品のよさを感じ取り、表現の工夫などについて考え見方や感じ方を深めている。	
3 学期	生命感をあらわす	・主体的に表現の創造活動に取り組もうとしている。 ・自己を見つめ、考えたことや感じ取ったことから主題を生成し、単純化や省略、強調することで、効果的に自己を表現するための構想を練っている。 ・材料の特性を理解し、表現方法を工夫し、創造的にあらわすことができる。	実施しません